2026 年 11 月 18 日

報道各位

株式会社テリロジー

株式会社テリロジー、AIセキュリティ分野の先進企業であるDeepKeep社と販売代理店契約を締結
～企業の安全なAI活用を支援する、総合AIセキュリティプラットフォーム「DeepKeep」の提供を開始～

株式会社テリロジー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：甲賀武、以下「テリロジー」）は、AI アプリケーション、AI エージェント、およびモデル全般を保護する AI セキュリティプラットフォームを提供する DeepKeep Ltd.（本社：イスラエル、以下「DeepKeep 社」）と日本における販売代理店契約を締結し、同社の総合 AI セキュリティプラットフォーム「DeepKeep AI Security Platform」の販売を開始したことをお知らせいたします。

■ 背景

近年、生成 AI や自律型 AI エージェントのビジネス活用が急速に進む一方で、従来のセキュリティ対策だけでは対応が難しい新たな脅威や運用リスクが顕在化しています。生成 AI は、同一の入力に対しても異なる出力を生成する場合があり、その挙動を事前に把握・管理することが難しいという特性があります。また、プロンプトインジェクションや機密情報の漏えいなど、AI の利用に伴うリスクへの対策も求められています。さらに、AI エージェントや MCP（Model Context Protocol）サーバーの増加に伴い、攻撃対象となり得る範囲も拡大しています。

こうした環境変化に対応するため、テリロジーは AI の設計・開発から本番運用に至る全ライフサイクルを包括的に保護し、マルチモデル・マルチモーダル環境に対応した DeepKeep 社の AI セキュリティプラットフォームの取り扱いを開始いたしました。

■ DeepKeep 社および製品の概要

DeepKeep 社は、生成 AI の本格的な普及に先立つ 2021 年に設立された AI セキュリティ専門企業です。2025 年 11 月には、調査会社 Omdia の「On the Radar」レポートにおいて、AI セキュリティ分野の「Key Innovator（主要なイノベーター）」として評価されました。同社は、LLM（大規模言語モデル）、コンピュータビジョン、AI エージェントを含む企業全体の AI システムに対して、開発から運用までのライフサイクル全体をカバーするセキュリティを提供しています。英語をはじめ、日本国内のエンタープライズ利用において不可欠な日本語のプロンプトにも対応しており、日本語特有の表現やコンテキストを踏まえたプロンプトインジェクション検知やガードレール適用が可能です。

■ DeepKeep 社 製品担当バイスプレジデント Ofer Rotberg 氏コメント

従業員が利用する AI ツールから顧客向けアプリケーション、自律型 AI エージェントに至るまで、企業が日常業務に AI を取り入れる中で、機密データを保護し、AI の動作を適切に管理することが求められています。テリロジーとのパートナーシップを通じて、日本企業がこうした課題に対応できるよう、AI システムの導入前におけるセキュリティテストと、本番環境での継続的な保護を支援してまいります。テリロジーが有するセキュリティ分野の専門知識と日本市場における事業基盤は、お客様がこれらのセキュリティ対策を実際に導入・運用していくうえで、重要な役割を果たすものと確信しています。

■ **プラットフォームの特長と提供価値**

DeepKeep のプラットフォームは、単一のポリシーエンジンに基づき、自社開発 AI アプリ、自律型 AI エージェント、および社内ユーザー・開発者の AI 利用に至るまで、AI エコシステム全体の統合セキュリティ管理を実現します。

主要機能モジュール	概要と提供価値
AI Firewall (リアルタイム防御)	開発・運用環境における事前・事後のリアルタイムアラートと 60 以上の実行時ガードレールを適用。リスクある出力やデータ漏洩を防ぎます。
AI Red Teaming (適応型レッドチーミング)	AI モデルやアプリケーションの堅牢性と信頼性を適応的に評価。人間主導の Vibe モードと自動化テストを組み合わせ、テストシミュレーションを実行します。
AI Lens (可視化・利用統制)	従業員や開発者の AI 利用に関する可視性、ロールベースのアクセス制御、およびシャドーAI の検知・シャドー利用の制御を実現します。
AI Agent Scanner (エージェントスキャナー)	自律型 AI エージェントが接続するツール、外部システム、および到達可能なアクションを自動マッピングし、ランタイムでの保護を提供します。
Model Scanning (サプライチェーン保護)	静的および動的スキャンにより MLBOM（AI モデル部品表）生成や CVE 脆弱性検知を行い、AI サプライチェーンの安全性を担保します。

■ **株式会社テリロジーについて**

株式会社テリロジーは、1989 年に設立されたテクノロジーバリュークリエイターです。セキュリティ、ネットワーク、モニタリング、ソリューションサービスの 4 つの分野を中核に、市場や顧客のニーズに応じた幅広いハードウェア、ソフトウェアおよびサービスを提供しています。

大企業や通信事業者を中心に 300 社を超える顧客基盤を有し、ネットワーク関連ビジネスおよびサイバーセキュリティ分野で豊富な経験と実績を有しています。

テリロジーは、これまでのセキュリティビジネスで培ったノウハウとチャネルネットワークを最大限に活用し、中規模から大規模の企業様に対し、DeepKeep AI Security Platform の提案と導入支援を強力に推進してまいります。

会社名	株式会社テリロジー
所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1 丁目 1-1 フロントプレイス神田神保町 6 階
代表者	代表取締役社長 甲賀　武
設立	1989 年 7 月
事業内容	ネットワークおよびセキュリティ関連製品の提供、ソリューション開発、技術サポート等
Web サイト	https://www.terilogy.com/

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社テリロジー
AI クラウドセキュリティ事業本部
TEL：03-3237-3291、FAX：03-3237-3293
e-mail：deepkeep@terilogy.com

【報道関係者お問い合わせ先】

株式会社テリロジー
広報宣伝担当 齋藤
TEL：03-3237-3291、FAX：03-3237-3316
e-mail：marketing@terilogy.com